資料2

玉城町　地域福祉力向上作戦計画
（実施期間平成24年度～26年度）

理念

町民が共に支え合う福祉の心を培い、共に笑い合う心豊かなまちづくりを実現する。

基本目標	推進項目	実施計画	年次 平成24年度	平成25年度	平成26年度
1．地域のコミュニケーションアップ 地域のつながりが希薄になりつつある中で、地域住民同志（団体）のつながりを強化する。	（1） あいさつ強化デー・あいさつウォーキングの強化 一人ひとりのあいさつ（声掛け）に対する意識の向上を図る。	1.校区毎に座談会などの集まりを開催し、あいさつの大切さを伝える	**実施** 1校区開催 （下外城田）	評価 2校区開催	→
		2.あいさつの回数及び啓発場所を増やす	**拡大** 毎月開催 （全啓発個所）	→	→
		3.あいさつウォーキングを実施する	**検討**（重点） しあわせ委員会との協働	**実施** →	→
	（2）画期的なあいさつ強化の取り組み これまでにない地域住民、団体の連携の促進。	1.ケーブルTVを活用する	**実施** 住民参加型のあいさつ宣言コーナー	→	→
		2.福祉団体・各種団体への啓発	**検討** 協力依頼 →	**実施** →	→
	（3）あいさつのある町宣言 いつでもどこでもだれとでも行えることで、町全体の取り組みとして意識づける。	1.あいさつ宣言（啓発）	**実施** 住民・各団体インタビュー （紹介も含み、PR紙発行ほか）	→	→
2．福祉共育のできるまち 福祉行政だけに頼らず、地域住民（町内団体）の支え合う気持ちを育み、支え合いの輪を広げていく。	（1）住民全体の意向の聞き取り 高齢者や障がい者などターゲットを絞って、住民一人ひとりが抱える課題を知る。（本音を知る）	1.小学校区で聞き取りのアンケート	**検討** ・アンケート内容及び方法	→	**実施**
	（2）気軽に町づくりについて話せる場つくり コミュニティーの拠点になるような場をつくる。	1.気軽に集まれる場（拠点）つくり	**検討** どんな内容で集まれるかを検討する。	→	**実施**
	（3）住民参画活動 ボランティアの高齢化また、地域活動をする人が固定化する中で、ボランティア意識の広がり、新規人材の育成を行う。	1.町内イベントでの福祉啓発	**実施** まつりの内容を工夫する	→	→
		2.あいさつの大切さを伝えていく	**検討** 小学校への出前講座 →	**実施** →	→
		3.福祉協力員の養成	**検討** →	**実施** →	→
		4.新規人材の養成	**検討** →	**実施** →	→